

北海道代協・函館支部が創立70周年



参加者による集合写真

記念式典など盛大に開催

一般社団法人北海道損害保険代理業協会・函館支部(田代誠治郎支部長)は、9月15日、函館市の函館湯の川花びしホテルで創立70周年の記念講演、記念式典、祝賀会を開催。式典には91名が参加した。

午後2時からの記念講演では、(株)ブレインマーの代表取締役・安東邦彦氏が「今いる人材が最高の成果を生み出す『仕組み』の作り方」をテーマに講演。

午後4時半からの記念式典では、一般社団法人日本損害保険代理業協会(以下、日保協)・金子智明会長、一般社団法人北海道損害保険代理業協会・佐々木雅之会長が祝辞を述べた。

功労者表彰では、同支部70年の歴史の礎を築いてきた歴代支部長を中心に7名に感謝の気持ちを込めて記念品を贈呈。功労者を代表して、MS保険サーブیس北海道(株)・高梨重勝最高顧問が謝辞を述べ、記念式典を終えた。

午後6時から祝賀会が開かれ、衆議院・前田一男議員、日本代協・山口史朗副会長が来賓挨拶。日保協北海道支部函館地区連絡会・岩瀬力代表理事が乾杯の挨拶を行った。支部会員や保険会社など参加のもと、70周年を盛大に祝った。

▽田代誠治郎支部長挨拶(抜粋)

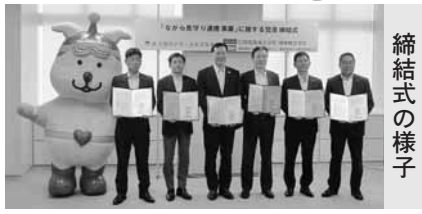
見守り連携事業で覚書

三井住友海上などが東京都と

三井住友海上および同社専業代理店組織「MSA」はこのほど、東京都の青少年・治安対策本部と「ながら見守り連携事業」について共同で取り組むこととし、9月13日には事業連携の覚書を締結した。

同社と東京都は、地域社会の発展と都民サービスの向上を図る目的で、「包括連携協定」

「ながら見守り連携事業」は、地域に密着した事業者が東京都と連携し、日常の業務をしながら子どもや高齢者を見守ることで、安全に暮らせる地域づくりに努める取り組み。この事業で連携する事業者は、約600名が



締結の様子

「地域が防犯上不安を抱く場所を巡回して見守りを行う見守り要望箇所の走行」「交通事故に関するヒヤリハット情報の共有」「子ども・高齢者等へ

9月13日の事業連携の覚書締結には、同社の岡大輔執行役員東京本部長や都内4地域のMSAの会長が出席。東京都の澤裕之青少年・治安対策

4社が大阪経済法科大学で

寄付講座「保険論」を開催

大阪経済法科大学八尾駅前キャンパス(大阪府八尾市)で損保ジャパン日本興亜、三井住友海上、日新火災、(株)ウインライによる寄付講座「保険論」が9月11日から15日

までの5日間行われた。担当教官は同大学経済学部・深瀬澄教授。

9月14日の第12講では、「保険代理店の現状と今後」をテーマにパネルディスカッションが行

店主のつぶやき

生損保代理店K社 島英子 88

今年、それぞれのお店のお客さまにも声をかけ、ご家族も含め総勢100名近い大所帯のツアーになった。大型バス2台を繰り出して出かけた先は、都心から片道一時間ほどの船橋市。隣でボランティ

アノガイドさんが地図を指しながら、船橋市とデーンマーク・オーテンセ市(アンデルセン生誕の地)が姉妹都市であることや、二つの市の交流の軌跡を丹念に説明している。好天に恵まれた休日、

「童話との出会い」

船橋市は東京のベッドタウンとして知られる千葉県第2位の人口を擁する中核都市だ。鉄道もJR・メトロ・私鉄が網羅され、バス路線も充実している。東京都に隣接

お客さまご家族にアクティビティを満喫していただこうとやってきた公園で、思いがけず筆者は、アンデルセン童話の館にクギ付けになった。小さい子供たちに混じって

あらゆる不正を断固排除

福井県防対協が総会開く

福井県損害保険防犯対策協議会(鈴木宏会長)は、9月6日午後3時半から、福井市の福井県協ビルで、第36回総会を開催した。

総会の開会に当たり、鈴木会長は挨拶の中で、柔道整復師ら5人が絡んだ保険金詐欺事件検挙に感謝の意を伝えるとともに、「あらゆる不正は断固排除するという毅然たる態度で日常業務に取り組みとともに、損保

各社、共済ならびに警察等と情報を交換し、共有化していくことが重要である」と述べた。

また、来賓挨拶では、財務省北陸財務局・土井康行福井財務事務所長から「損保会社の取引から反社会的勢力を排除することは、非常に重要である。損保には社会と経済を支える役割がある。顧客の最善の利益の提供、顧客本位の業務運営および



決意表明の様子



パネルディスカッションの様子